

まちづくり用地の利活用が進んでいます！

令和6年8月3日（土）、4日（日）に、谷塚駅西口まちづくり用地で第2回目となる「やつか納涼フェスタ」が開催されました。当日は多くの出店やイベントがあり大盛況となりました。

今後の整備内容の検討にあたって、これまで実施されてきたイベントが引き続き実施できるような広場のレイアウトや管理方法について検討していきます。



当日の様子

今後の進め方

令和6年度末を目標に、駅前周辺エリアのまちづくり基本計画の策定を進めます。その後、合意形成や道路・駅前広場等の設計、事業認可手続等を進め、令和13年度頃の工事着手を目指します。

まちづくり基本構想の取りまとめ

- 駅前広場の設計内容について、地域の方からの意見をもとに検討を深度化するとともに、警察等の関係者との協議を行います
 - 整備範囲、内容に対して地域の声を聴きます
 - 導入機能、事業手法・段階整備、事業スケジュール等の検討を行います
 - 対象となる権利者の方々に、各土地・建物に係る合意形成を図ります
- 上記の検討にあたり、引き続き権利者の方々の土地の意向や計画内容に対する意見を伺います

まちづくり基本計画の策定

- 道路・駅前広場等の設計
- 事業認可の手続き
- 工事着手（予定）

※スケジュールは検討中のものであり、今後変更となる可能性があります。

R6年度

R7年度以降

R13年度頃

【問合せ先】

草加市役所 都市整備部 都市計画課 まちづくり推進係 田中、益子、切敷、工藤
〒340-8550 草加市高砂一丁目1番1号
電話 048-922-1802（直通） FAX 048-922-3145
E-mail toshikeikaku@city.soka.saitama.jp



二次元コードを読み込んでいただくとメールが送付できます

谷塚駅西口地区 まちづくりニュース

令和6年10月

第2号

発行：草加市都市整備部都市計画課

TOPIC 駅前の居心地の良い空間づくりを考えるワークショップを開催しました！

令和6年8月24日（土）に、駅前の広場やロータリーの整備に向けて幅広い意見を集めるため、駅前の居心地の良い空間づくりを考える第2回目のワークショップを開催しました。

ワークショップの開催概要

対象	谷塚駅西口地区に土地建物の権利を持っている方や周辺に住んでいる方など
参加人数	17名
開催概要	将来整備される駅前広場のレイアウト案をもとに、日常、非日常（催事）それぞれのシーンでどんな活用をしたいか、どんな広場として整備されると良いか、4グループに分かれて話し合いを行いました



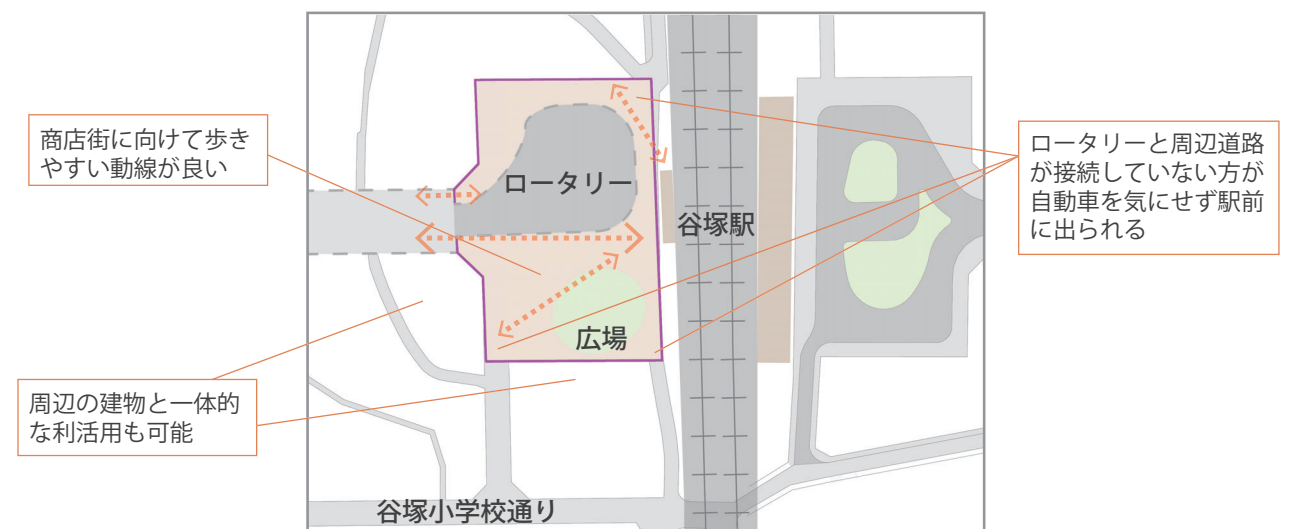
イメージを膨らませるため、車や樹木などの模型を使いながら話し合いを進めました

交通環境 に関する意見（各グループ意見のまとめ）

今回のワークショップでは、広場の利活用について考える前に、ロータリーが周辺の道路に接続している案としていない案の2つをもとに駅前広場の交通環境について話し合いを行いました。

各グループの話し合いでは、「ロータリーと周辺道路の接続が多くなると、自動車がロータリーに進出しやすくなるが、歩行者は車道を渡らなければ駅前に出られない」、「ロータリーと周辺道路の接続が少ない方が、歩行者は安全に駅前を歩くことができ、広場と周辺の建物との一体的な利活用も可能となる」といった意見が出され、ロータリーと周辺道路の接続がない方が交通環境の面では望ましいという意見が多く挙がりました。

今後、警察等の関係者との協議を行いながらより詳細な検討を行っていきます。



▶この案をベースに広場の利活用等について話し合いました

広場の利活用等についての話し合い結果は中面（p2-3）をご覧ください。

ワークショップで話し合った谷塚駅西口駅前広場の活用イメージ

広場の将来像に関する主な意見

- ・ロータリーはコンパクトにして、周辺道路も歩行者専用にするなど**歩行者優先**の駅前広場にしたい
- ・**災害時も安全に利用**できるような場所
- ・子どもが**安心して遊べ**、学校等の帰りがけに遊んでいくような場所
- ・**憩いのスペース**が豊富で**個人店の出店**も可能な場所
- ・**体験型の文化イベント**により、**交流**が生まれる場所



各グループでの話し合いの結果は、草加市のHP（左側の2次元コード）でご覧いただけます。

周辺機能 周辺に求められる機能

- ・広場を囲む建物は、**多様な店舗が混在した複合施設**が良いという意見が多く挙げられた。個人店などの**小さな店舗も出店できる**ようにしてほしいという意見もあった。

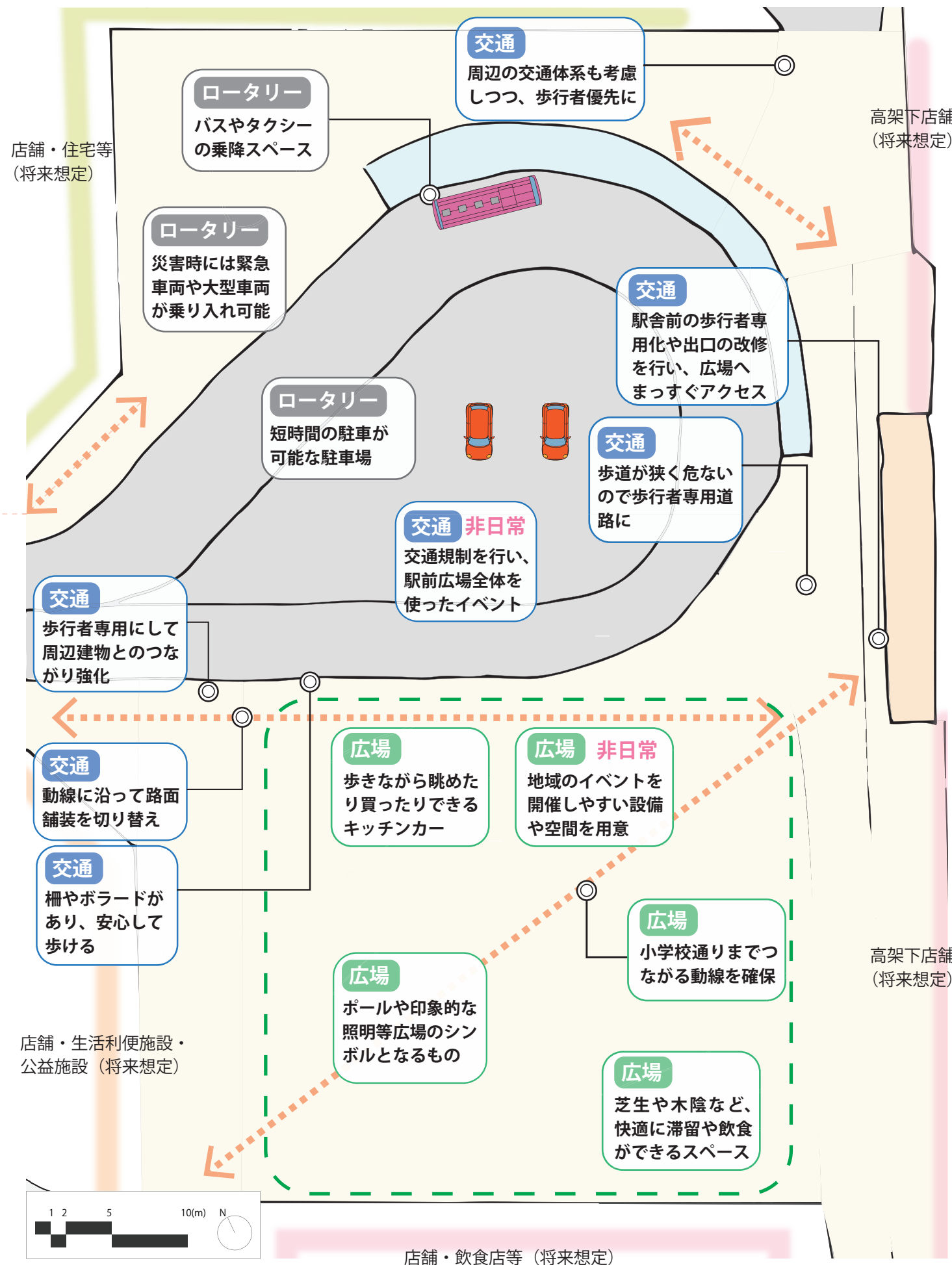


その他 今後の検討で留意すべき事項

- ・イベント時にはトイレが必要だが、広場内に常設整備するのであれば、設置場所やきれいに使うための運用ルールも検討する必要がある
- ・周辺への騒音など、マナーやルールづくりも考えていく必要がある
- ・駐輪場や交番等の施設の必要性や設置場所についても検討する必要がある

想定される歩行者動線

- 道路を横断せず安全に歩ける歩行者動線
- 道路の横断が必要な歩行者動線



広場 日常時の活用イメージ

- ・**芝生や木陰、屋根等がある空間で滞留したい**という意見が多く挙げられた。
- ・キッチンカーが日常的に出店していたり、持ち寄った食事を広場で食べられると良いという意見も多かった。



- ・子どもの遊び場やペットの散歩の場等、**特定のニーズに特化した場所**が欲しいという意見も挙げられたが、周辺への影響やマナーに配慮が必要という意見もあった。



- ・かまどベンチ等を設置して、災害時には避難場所として使えるようにすべきという意見もあった。

広場 非日常時の活用イメージ

- ・飲食イベントや、演奏会、アートのような文化・芸術イベントを開催したいという意見が多かった。



- ・屋外上映会やイルミネーション、盆踊り等、**既に地域で実施したことがあるイベントも継続して開催したい**という意見が挙げられた。

